

派遣事業の大切さ

新井 年美（引率者）

2011年に初めて引率をさせていただき、今回は2回目の引率となりました。CIFAのスタッフの方々は5年前とほとんど変わらないメンバーでしたので、感動の再会でした。日本で2007年からホームステイの受け入れをしたカムデン生達や引率者の方、そのご家族の方々にもまた会うことができ、我が家に滞在したときは高校生だったカムデン生が大学生になったり、働いていたりとその成長ぶりにも驚かされました。

1回目は全てが初めてのことでしたので、CIFAのスタッフの方々に頼りっぱなしでしたが、2回目はどのようなことが行われるのかが大体わかっているため、引率者として何に気を付けなければならないのかを先に先にと考えることができ、CIFAスタッフの方々の手伝いにも積極的に参加することで、運営の裏側を知ることができました。改めて、細かな準備をして派遣生を受け入れてくださっていることに驚かされました。

引率者は派遣準備から始まり、現地では個々の派遣生の様子や体調、ホストファミリーとの関係等を常に気を配らなくてはなりませんので、大変責任が重い仕事ですが、それぞれの派遣生が派遣を通して考えること、感じることに変化が表れ、挑戦していく姿を見られることは、大変嬉しいことです。この派遣がその後の生活に大きな影響を与えることは間違いありません。日本には2週間海外で一緒に過ごした年齢も学校も違う新しい仲間ができ、カムデンには新しい知り合いができたことは宝物のひとつになると思います。

派遣事業は、カムデンのホストファミリーや訪問する各場所で日本を知っていただく機会でもあり、交流することで派遣生だけでなく相互に大きな影響を与える重要な役割があると実感致しました。私自身、引率からいろいろなことを学ばせていただきました。最後に、支えて下さった全ての皆さまに感謝をし、この派遣事業が末永く続くことを願っております。本当にありがとうございました。



2010年カムデン生とそのご家族と再会